

言い訳

2023. 2. 14

すべての責任は自分にあると考えられるか。このことがいつも頭にある。学校がうまくいかないとすれば、それは自分の責任である。うまくいかない原因が自分以外にあったとしても、そのことを言うわけにはいかない。言ってしまえば責任回避である。

「自分事」という言葉をよく聞くようになった。物事を他人事ととらえるか、自分事ととらえるかによって、天と地ほどの差が出てしまう。自分に関係することの責任は、すべて自分にあると考えられる人が、本当の大人であろう。

本当の大人には、弁解や言い訳がない。一流の人間は決して弁解しない。言っているほうは、言い訳をしているつもりはなくても、聞いているほうにとっては、言い訳にしか聞こえない。弁解でしかない。こういったことはよくある。

自分が言い訳や弁解をしない人間だとは思わないが、言い訳をしないようには気をつけている。言い訳をしないというよりは、だんだんとできなくなってきた。自分に責任があると思えば、言い訳はできないものである。

言い訳をしないということは、言い訳をしなくてもいい生き方をすることである。いつも遅刻している人が、遅刻しておきながら、無理やり言い訳をしないということを守ろうとしても、ますます信用されないだろう。遅刻しても言い訳しないでおこうというのではなく、言い訳をしなくてもいいように、時間よりも早く行くように努力することである。

決して弁解しないのが一流の人間であるならば、一切の弁解や言い訳をしなければ、一流の人間になれるかもしれない。きっと、人生はただ一つでいいのである。これだけは絶対に守り通すのだと決めた生きる原理原則を貫くことが大事なのだろう。

残念ながら、そこまで強く思って実践していることはない。だが、ほどほどに思って気をつけていることはいくつかある。ほどほどなので、継続性が弱く、持続力もあるとは言えない。断続的という言葉が合うかもしれない。それでもやめることはしない。

言い訳をしないも、その一つである。言い訳をしないと決めることも大切だが、自分に責任があると思えば、自然と言い訳は出てこなくなる。自分に関わることのすべては自己責任である、どのくらい思えるかであろう。

誰でも自分のせいにはしたくないものである。そこをぐっとこらえて、自分事としてとらえる。決して簡単なことではない。自己責任は、人間を精神的に強くしてくれる。自分で決めて自分でやる。人に言われてやるよりも、はるかにむずかしい。言い訳をしない。このことができないことの言い訳をしないようにしたい。